



大阪を前へ!! 時代を前へ!! 今・スタート



2020年10月要望(山本厚生労働副大臣)

- Q.** 令和4年12月14日—大阪府議会で、がんの最先端治療のひとつであるBNCT(ホウ素中性子捕捉療法)の、万博でのアピールについて質問しました。大阪発の【いのち輝く未来社会のデザイン】がテーマである「大阪・関西万博」で世界に向けて発信すべきと質問。
- A.** 大阪府として、研究機関や民間企業等関係機関と協同して、万博での、BNCTの発信について検討すると答弁がありました。



大阪科学賞について質問

- Q.** 大阪科学賞について質問。大阪科学賞はノーベル賞を受賞された「山中伸弥氏」や「本庶佑氏」が若手研究者の時代に受賞されたものです。この大阪科学賞で本物の科学に触れる事が、科学技術分野の研究等で活躍する人材を育成できるのではないかと。どのような取り組みを行うのか?
- A.** スーパーサイエンスハイスクールに指定されている府立高校15校に周知を行い、さらに府立高校の生徒の参加を呼びかけ、生徒が最先端の研究をはじめ、学ぶ機会を持つ事が出来るよう、大学や外部機関との連携に務める。



災害時・協力井戸 (出典:危機管理室)

- Q.** 東海地震や東南海・南海地震が、3連動で起こるいわゆる「南海トラフ巨大地震」が発生した場合、水が不足するのではないかと。平成28年の熊本地震において、個人宅の井戸が災害用井戸として開放され災害時の水の確保策となった。万博には多くの方が来阪されるが、どうするのか?
- A.** 災害時協力井戸制度未投入の市(①高槻市・②大阪市・③東大阪市・④堺市)に対して、健康医療部と連携し、積極的に働きかけを行う。

その他、12月14日の質問は—

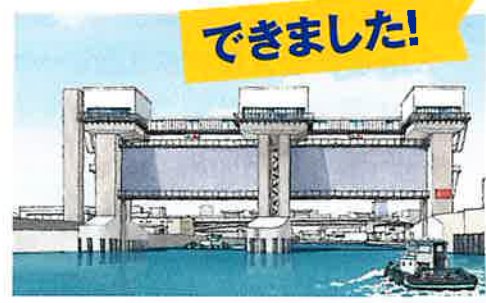
- 「大阪・関西万博」を見据えた周遊促進について。
- 万博に向けた、ブルーカーボン生態系の取り組みについて。
- 最新技術を活用したカーボンニュートラルの取り組みについて。
- 大阪公立大学の蓄電池研究について。
- 大阪公立大学のスタートアップ創出に向けての取り組みについて。

生態系
ブルーカーボン



木津川水門(津波対策)が本格スタート

2030年(R12年)に新水門完成予定です。2011年の東北大地震を教訓に津波対策として、ボタンでの操作や、遠隔地・無線操作を進めてまいりましたが、いよいよ、津波対策の新水門の完成を目指し、更なる、安全・災害対策を進めてまいります。



2021/10/6

公明党の大阪府議会で、代表質問の際に求めた【木材を使った大屋根リング】が、実現する事となりました。[4つのメリット—①二酸化炭素の削減 ②暑さ対策 ③木材の再利用 ④建設費のコストダウン]を質問しました。素晴らしい「大阪・関西万博」となるよう取り組んでまいります。

できました!

